

起業家はフィールドで学ぶ

石川孔明さん
環境学研究科・社会環境学専攻・環境政策論
修士課程1年
ECL有限責任事業組合代表



豊田市の祭でリユース網を紹介



網からノリをはがすための微生物実験中(・・・臭い)

名大生であり、事業家でもある石川さん。起業のきっかけは、自分が育ったまちにあった。石川さんの地元は三河湾沿岸の小さなまち。昔から海苔養殖がさかんで、毎年大量の養殖網が廃棄されていた。聞けば、昔は山村農家が持って行ってイノシシなどの防護網に使っていたと言う。暮らしの中で当たり前にあったリユースの輪が、いつしか消えていた。

漁協の協力を得て網を集め、ほつれを直してインターネット販売を始めると、捨てられていたものが、日本各地で、様々な用途で再利用されるようになった。経済産業省の「環境コミュニティ・ビジネスモデル事業」にも採択され、一段と弾みがついた。

「田舎では何も新しいことはできない、農家はもうだめと思っている人たちがいたとしたら、そうじゃない、面白いって思ってもらうことがぼくたちの役割。地域の人たちとの信頼関係のなかで新しいことを模索していきたい」。

リユースから始まった事業は、日本中の海と山のまちを元気にする種を探し出そうとしている。



国立大学法人名古屋大学

〒464-8601

名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院環境学研究科

TEL.052-789-3455

www.env.nagoya-u.ac.jp/

